

第37号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所  
 靈 龜 山 九 島 禪 院  
 〒550-0022大阪市西区本田3丁目4-18  
 ☎06-6583-2725  
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)



# 米同時多発テロ

― パレスチナ問題の解決が大事 ―

九月十一日の米国中枢に対する自爆テロ攻撃が始まった今回のアフガン戦争は、首謀者のウサマ・ビンラディンの拘束とテロ組織アルカイダの撲滅、そして彼をかくまうタリバン政権崩壊をめざす連日の空爆と北部同盟の大攻勢の結果、首都カブールが陥落し、タリバンは根拠地カンダハルに追い詰められています。(十一月十八日現在)

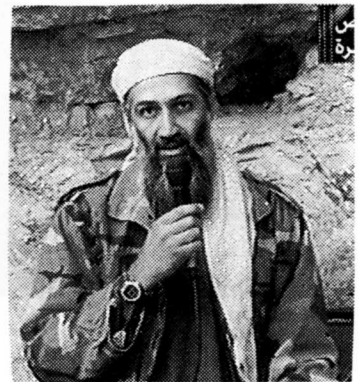
今回のアフガン戦争は、米中枢同時テロに対する報復ではなく、テロリズム撲滅に向けての新たな戦争であるとブッシュ大統領は語っていますが、この戦争は文明の対立、あるいは宗教の対立という側面を否定できません。

キリスト教とイスラム教とは同じ根から発生した兄弟宗教ですが、長い間近親憎悪の歴史を持ってきます。二百年にわたる十字軍の戦いや近代科学文明を生んだ西洋キリスト教世界は、その文明の力によってイスラム諸国を植民地にしました。また第二次世界大戦直後のイスラエ

ルの建国は、二千五百年前にここにいたというユダヤ民族が突然やって来て、現住のアラブ民族を追い出しました。その結果パレスチナ問題が起こったのです。

ようやく、イスラエルとアラブ社会とはクリントン大統領の時代に和平条約が締結されましたが、イスラエルは無視し続けイスラエルを後押しするアメリカに對し「聖戦(ジハード)」におよんだのです。

そのような背景を無視してはこの戦争に勝ったとしても、問題の解決にはなりません。そもそも、両宗教はその母体であるユダヤ教をふくめて一神教です。一神教の考え方は、唯一絶対の神の存在を説き、神の加護により魂の救済を教えています。それに対して仏教はあらゆる絶対的なものを否定しています。絶対不変の事象などはなく、すべては変化生滅するとして「無常」を主張し、永遠不滅の自我は存在しないと説いているのです。そして、あらゆるものの存



ウサマ・ビンラディン

在の原理を「縁起」の思想で説明します。すべての物事は一定の原因の結果としてあり、またその因を補助する縁によって生起している。だから、その因と縁が変われば、すべても変化する相対的な存在であるとしたのです。

アメリカが巨大な軍事力で、一人のテロ首謀者を捕らえることができて、原因であるパレスチナ問題を解決しない以上、第二、第三のビンラディンやタリバンが出て、核兵器や生物兵器を使う大規模なテロがアメリカやアメリカを支援する国々に起こることは火を見るより明らかでしょう。

お釈迦さまは自国を滅ぼされ親族を皆殺しにされましたが、その憎悪の連鎖の業を断てと説かれました。パレスチナ問題解決に努力するとともに、お釈迦さまの智慧に学ぶことこそ、大事なことではなからうかと思

阪神西大阪線難波延伸工事・平成十五年に着工決定!

